

コミュニティ・スクールだより

第8号

<令和4年度第2回学校運営協議会について>

1月27日（金）に、本校の「えほんのへや」において、第2回学校運営協議会（通算では8回目）が開催されました。その内容を報告します。

1. 第1回以降の学校の取組みについて

校長から第1回学校運営協議会以降の学校の取組みを報告しました。

取組みの概要と写真を掲載した資料、及び全国学力・学習状況調査の結果と考察をまとめたものを使い、説明しました。



学校運営協議会の様子

2. 地域学校協働活動推進員、一小応援団、PTAの取組みについて

地域学校協働活動推進員の田中さんから、地域コーディネーターとしての取組みが報告されました。田中さんが本校の教職員向けに作成した「ニュースレター」を資料とし、実行できた取組みの様子と、今後の予定を説明されました。また、吉木さんからは一小応援団の取組みが、岩井さんからはPTAの取組みが、他の委員の方々からは地域等の取組みが報告されました。

3. 取組みをさらに充実させるために

委員の方から次のような発言がありました。

- ・児童が学校から帰宅した後に、運動場へ遊びにくる場合、自転車の禁止を解除してくれたら学校に遊びにくる児童が増え、公園の混雑が緩和されるのでは。
- ・帰宅後の児童の遊びについて、学校に責任を課すべきではない。
- ・公園でボール遊びができない現状を、6年生が2年連続で訴えているが、市や議員には届いていない。改善のために大人が真剣に取り組むべき。

- ・おかしいと思うことがあれば「おかしい」と大人も子どもも声を出して言えることが大事。仮に子どもがおかしいと思うことが、大人の都合でそうなったのであれば、見直していく時期に来たのでは。市民教育を進めることが大切。
- ・子どもに市民教育の大切さを伝え、子どもたちにも権利があることを学ばせ、「なぜ自転車がダメなのか」「なぜボール遊びがダメなのか」などの疑問を、地域の皆さんと向き合って議論できる教育の場が求められている。
- ・6年の「町の未来をえがこう」のプレゼンテーションの発表の内容は、全体的にはよかった。高齢者問題については少し言いたいところがあったが、そういうことを含め、カリキュラムマネジメントをしながら、どんどん取り組んでいくべき。

4. 学校運営等に関する意見の申出（規則第5条）について

委員の方から次のような発言がありました。

- ・男子トイレが廊下から丸見えなのが気になる。恥ずかしいと思う子はいないのか心配。子どもたちに議論させてみてはどうか。
- ・私も気になっていた。その議論から何かが変われば、子どもたちにとって大きな経験となるのでは。
- ・一小応援団で預かりのようなことができれば、校庭開放の利用のため一旦帰る必要がなくなるので、少しずつでもできないかと考えているが、誰がその面倒を見るかなど、課題が多い。

教育委員会に対して、次の意見を申し出ることについて、確認しました。

「来年度も単学級の学年が多くなる。加配など教職員の配置について、教育委員会に配慮をお願いしたい。」

5. 連絡事項

- ・第3回学校運営協議会は、3月23日（木）の10時からの予定。

（文責 酒匂）